

震災等対策委員会だより

No. 3

会長 尾崎 祐三

第2回震災等対策委員会報告

第2回震災等対策委員会を開催しました。
 期日：平成23年4月4日（月）19:00～20:30
 場所：お茶の水ナーベル会議室
 内容：①委員会の構成と委員長の選出
 ②「必要な支援に関する調査」の中間報告を受けての具体的対応策
 ③次回開催日
 を検討しました。

決定内容は

① 委員長：明官茂（全知長会長：都立青鳥特支）
 副委員長：座間幸男（都立八王子盲）鈴木茂樹（都立中央聾）三室秀雄（都立光明特支：肢体）山田洋子（都立久留米特支：病弱）の各種別の校長会代表者4名。
 事務局員全員を委員会所属とする。

②具体的な支援策

- ・被災にあった、4県（岩手、宮城、福島、茨城）の校長会に対して、見舞金として200万円（各県に50万円ずつ）を今週中に送付する。
- ・「必要な支援に関する調査」の中間報告の情報を県代表に送付し、県内での対応に資する。
- ・政府や関係機関に、要望や意見を伝えていく。

③次回開催は、4月22日（金）事務局会と共催。

「必要な支援に関する調査」結果！

「必要な支援に関する調査」の中間報告を行います。

今回は、「具体的な支援は何か」を探るため、現地の4県の校長先生方に調査を依頼しました。現在頂いている情報は41件（岩手9件、宮城13件、福島7件、茨城12件）です。得られた情報の概要は

- 1、校舎・施設等の被災状況⇒亀裂、破損の学校がある。
- 2、児童生徒状況⇒死亡6名。
- 3、教職員の状況⇒死亡1名。
- 4、必要な支援⇒学用品、紙おむつ、衣類（下着）、靴、生活用品、文房具、燃料、飲料水
- 5、全特長への要望⇒見舞金、全特長としての支援の在り方に関して感謝する。私学への配慮があり、ありがたい。

文部科学省からの情報

この度東日本大震災に係る内閣総理大臣及び文部科学大臣からのメッセージを公表し、このことについて、添付通知のとおり、各都道府県教育委員会等宛て連絡を差し上げることとなりましたのでお知らせいたします。

例えば、本メッセージを始業式や校内放送で活用されるなど、各学校の児童生徒及び教職員等に行き渡るよう、特段のご配慮をいただければ幸甚です。

23文科初第40号平成23年4月6日

東日本大震災に係る内閣総理大臣及び文部科学大臣からのメッセージについて（通知）

このたび、新学期を迎えるに当たり、別紙のとおり、内閣総理大臣及び文部科学大臣より全国の児童生徒及び学校関係者に対するメッセージを公表しました。

このメッセージは、内閣総理大臣及び文部科学大臣から「新学期を迎える皆（みな）さんへ」と題して全国の児童生徒へ、文部科学大臣から「全ての学校関係者の皆様へ」と題して教職員をはじめ全国の学校関係者へ感謝や激励の念等を表しているものです。

つきましては、都道府県・指定都市教育委員会教育長におかれましては所管の学校及び域内の市町村教育委員会に対して、都道府県知事及び構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の長におかれましては所轄の学校法人及び学校設置会社に対して、国立大学法人学長におかれましては設置する附属学校に対して周知を図るとともに、このメッセージが各学校の児童生徒及び教職員等に行き渡るよう、特段の御配慮をお願いします。

なお、文部科学省ホームページ（<http://www.mext.go.jp>）にも文部科学大臣からのメッセージを動画で掲載していますので併せて御覧ください。

<厚生労働省からの情報>

厚生労働省から、被災された方々の生活関連の情報提供がありましたので、関係者の方々に情報提供いただければ幸いです。

厚生労働省「生活支援ニュース」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000017y57-img/2r98520000017y7w.pdf>